

(様式7)

公共事業継続箇所評価調査書

評価確定日(平成24年09月28日)

事業コード	H24-建-継-5		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	1次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道108号		担当課長名	阿部 喜巳
箇所名	湯沢市秋ノ宮		担当者名	齋藤 篤
総合計画との関連	政策コード	10	政 策 名	交通基盤の整備
	施策コード	02	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県管理国道の整備推進

1. 事業の概要

事業期間	H20 ~ H27 (8年)		総事業費	14.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=1,771m 幅員 W=6.0(11.0)m (1.25-3.0-3.0-1.25-2.5)						
事業の立案に至る背景	○当該路線は、宮城県石巻市を起点とし湯沢市を経て由利本荘市に至る幹線道路で、日本海側と太平洋側を横断的に結んでおり、仙台圏と産業・経済の地域間交流を促進するほか、鳥海・雄勝地域の観光を支援する観光道路の機能を有する重要な路線である。当該区間は通学路及びバス路線に指定されるなど地域内交通を支える生活道路にもなっているが、幅員狭小(Wmin=5m)で急カーブ(Rmin=65m)が連続し、歩道も無く、交通事故も多発しているため、安全な交通を確保できていない状況である。このため、広域的な幹線道路としての円滑な交通流動と、地域住民の安全を早急に確保するものである。						
事業目的	○道路防災対策・危機管理の充実(第1次緊急輸送道路) ○交通の隘路区間(幅員狭小、線形不良)の解消 ○高速ICへのアクセス機能強化(雄勝こまちIC) ○観光地へのアクセス機能強化(秋ノ宮温泉郷、小安峡、栗駒国定公園) ○地域住民、道路利用者への安全確保						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	1,450,000	1,450,000	0			
	経費内訳	工事費	900,000	900,000	0		
		用補費	350,000	350,000	0		
		その他	200,000	200,000	0		
	財源内訳	国庫補助	725,000	1,015,000	290,000		
		県 債	326,000	391,000	65,000		
その他		0	0	0			
一般財源	399,000	44,000	-355,000				
事業内容	調査・設計、改良工、舗装工、橋梁工	調査・設計、改良工、舗装工、橋梁工			国の制度改正により国庫補助率が変更となった。		
事業の進捗状況	○用地買収(進捗率41%)及び改良工事を進めている。 ○事業進捗率31%(平成23年度末)						
事業推進上の課題	○特になし						
関連する計画等	○ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」を支援する事業 ○秋田県市町村未来づくり協働プログラム「資源活用型ゆざわ地域づくり推進プロジェクト」を支援する事業						
情勢の変化及び長期継続の理由	○H19.8.26 雄勝こまちICの供用開始。						
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良済延長/路線実延長					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無		
	目標値 a	93 %		データ等の出典	道路課調べ		
	実績値 b	94 %					
達成率 b/a	101.1 %		把握の時期	平成24年4月			

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○当該区間は幅員狭小(車道幅員5m)及び線形不良(最小曲線半径65m)で、冬期堆雪幅が無く、1年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○通学路指定区間にもかかわらず歩道が無く、事故も多発(事故率107件/億台km)している。過去5年間では死亡事故が1件発生している。	13点
緊 急 性	○ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急医療ネットワークの整備」に位置づけあり	5点
有 効 性	○第1次緊急輸送道路であり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用が見込まれ、防災計画に重要な幹線道路である。 ○東北中央自動車道(雄勝こまちIC)へのアクセス道路としての活用が見込まれる。 ○鳥海地域や栗駒国定公園の観光拠点や秋ノ宮温泉郷への広域観光道路としての活用が見込まれる。	30点
効 率 性	○事業の費用対効果比は1.2であり効率性は高い。 ・総便益の現在価値 19億円 ・総費用の現在価値 15億円	17点
熟 度	○用地買収の進捗率は41%、事業の進捗率は31%である。	10点
判 定	ランク (○ I ● II ○ III) 事業箇所としての優先度は高く、事業は引き続き実施すべきである。	75点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価

事業コード(H24-建-継-5)

適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

箇所名 (湯沢市秋ノ宮)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題	・車道幅員<5.5m	3箇所以上	8	8	2次改築事業については該当しない。
		・最小半径<100m	2箇所	5		
		・最急勾配>5%	1箇所	3		
		・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
		・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	・現道の混雑度 ≥ 1.0	5件該当	7	5	2次改築は配点15点 2次改築は配点12点 2次改築は配点10点 2次改築は配点8点 2次改築は配点4点
		・現道の旅行速度 ≤ 30 km/h	4件該当	6		
		・現道の事故率 ≥ 50 件	3件該当	5		
		・通学路指定で歩道なし	2件該当	4		
		・重大交通事故が発生	1件該当	2		
計	該当項目なし	0	15	13		
緊急性	道路をとりまく環境等 関連事業の有無	・県の主要プロジェクト	あり	5	5	
		・地域振興プロジェクト	なし	0		
		・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	0	0	
		位置づけなし	0			
		特有の課題の有無	あり			
老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	5	0	0		
	なし	0				
計			15	5		
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送路	第1次輸送路	10	10	
		第2次輸送路	8			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等に	あり	10	10	10	
		なし	0			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10	10		
	低下傾向	6				
	必要性が低い	3				
計			30	30		
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	3	
		1,000台/日以上5,000台/未満	3			
		1,000台/日未満	0			
	コスト削減	あり	5	5	5	
		なし	0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	4	4	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4				
	既投資額の損失が少ない	3				
計			20	17		
熟度	事業の進捗進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		1割未満	2			
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	5	5	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
未着手	1割未満	2	0	0		
	未着手	0				
計			20	10		
合計			100	75		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	II	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		